

米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター  
公益財団法人 中海水鳥国際交流基金財団  
理事長 伊 澤 勇 人 様

米子市長 伊 木 隆 司

平成30年度「米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター」  
指定管理者業務評価書

施設名	米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター
施設所管課	市民生活部 環境政策課
指定管理者名	公益財団法人 中海水鳥国際交流基金財団
指定期間	平成28年4月1日 ~ 平成33年3月31日(3年目)

【モニタリング終了後の総評】・事業計画書、収支予算書と実際の業務内容を比較して記入する。  
・毎月の「運営状況チェック表(自己評価)」、半年ごとの「モニタリング評価表」で確認した内容等を記入する。

【施設所管課】

設置目的を達成するため、事業計画どおり事業を実施し、利用者から良い評価を得た。  
平成30年度は、クラウドファンディングを活用した資金調達・PRにより開催した全国公募のバードカービング・デコイ公募展、世界湿地の日の企画としての来館者による水鳥の総選挙、また、外来種対策としてカメ類の捕獲装置の設置・駆除等新たな事業をはじめ数多くの事業を実施し、市民の自然環境に関する意識の向上を図った。  
学習活動としては、自然観察会や手作り自然教室等定例のイベントを実施し、また講師として野鳥の専門家の派遣や研修会を実施する等、施設の多面的な利用と地域の要望に貢献した。  
施設管理においては、夏期の熱中症対策や、施設の老朽化による不具合に対する適切な修繕等、施設の安全対策を迅速かつ丁寧に実施した。  
総合的に、良好な運営を行っているものと評価する。

【第三者評価】

事業運営について、国内外の子どもたちとの交流会等を継続して実施する等、特に子どもに対して多種多様な環境教育を行っている点を高く評価する。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

【第三者評価】

平成 30 年度下期「米子水鳥公園・米子水鳥公園ネイチャーセンター」モニタリング評価表  
〔平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月〕

施設名	米子水鳥公園・米子水鳥公園ネイチャーセンター	
施設所管課	市民生活部 環境政策課	
指定管理者名	団体名	公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団
	所在地	米子市彦名新田 665
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 33 年 3 月 31 日	
選定方法	非公募	
施設の設置目的	市民の自然環境に関する意識の向上を図るため。	
主な実施事業	設置目的を達成するため、下記の事業を行う。 (1) 野生鳥類等の観察並びに野生鳥類等及び自然環境に関する学習活動のための利用に供すること。 (2) 野生鳥類等及び自然環境に関する資料の収集及び展示を行うこと。 (3) 野生鳥類等の生態に係る調査及び研究を行うこと。 (4) 前 3 号に掲げるもののほか、市民の自然環境に関する意識の向上を図るために必要な事業。	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
<b>I 履行の確認 (55 点)</b>			
<b>1 施設全般の管理運営に関する業務</b>			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査により確認：効率的な人員配置により業務を行っている。
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料等で確認：資質向上に努めている。
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	資料等で確認：HP や公園だよりの活用、マスコミへの情報発信を積極的に行っている。
<b>2 利用者に関する業務</b>			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	資料等で確認
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	A	資料等で確認：利用者からの意見に適切に対応している。
<b>3 保守点検及び清掃等の業務</b>			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料等で確認
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	資料等で確認：基準で定められた業務以外に、自主的に清掃・維持業務を実施している。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料等で確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査、資料等で確認：建物の機能維持のため、適切な営繕を実施している。

4	情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	資料等で確認
5	管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	A	資料等で確認：現状に即した対策を行っている。
<b>II サービスの質の評価（20点）</b>				
1	利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	資料等で確認：利用者アンケートではスタッフの親切かつ丁寧な対応に対し高い評価を得た。
2	維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	立入調査により確認
3	運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	資料等により確認：新規事業及びイベントを多数実施し、市民の自然環境意識の向上を図った。
4	施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	A	資料等で確認：施設の特性を活かし、野鳥等に関する展示、環境学習、調査研究等が実施されている。
<b>III サービスの安定性の評価（15点）</b>				
1	事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	資料等で確認
2	経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	資料等で確認
3	団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	資料等で確認

<p><b>【総評（所管課評価）】</b></p> <p>設置目的を達成するため、事業計画どおり事業を実施し、利用者から良い評価を得た。</p> <p>平成30年度は、クラウドファンディングを活用した資金調達・PRにより開催した全国公募のバードカービング・デコイ公募展、世界湿地の日の企画としての来館者による水鳥の総選挙、また、外来種対策としてカメ類の捕獲装置の設置・駆除等新たな事業をはじめ数多くの事業を実施し、市民の自然環境に関する意識の向上を図った。</p> <p>学習活動としては、自然観察会や手作り自然教室等定例のイベントを実施し、また講師として野鳥の専門家の派遣や研修会を実施する等、施設の多面的な利用と地域の要望に貢献した。</p> <p>施設管理においては、夏期の熱中症対策や、施設の老朽化による不具合に対する適切な修繕等、施設の安全対策を迅速かつ丁寧に実施した。</p> <p>総合的に、良好な運営を行っているものと評価する。</p>	<p><b>合計点</b>  (70)点 / (90)点  ×100 = (77)</p> <p><b>平均点</b>  (3.9)点</p> <p>※昨年度 合計点 77点、  平均点 3.9点</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

- ※評価区分
- A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）
  - B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）
  - C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）
  - D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成30年4 ～3月〕 A	前年度〔平成29年4 ～3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
開館日数	311	309	2、100.6(%)	
施設利用者数	20,088	19,409	679、103.5(%)	
施設稼働率	85.2	84.7	0.5、100.6(%)	
事業開催数	98	86	12、113.9(%)	

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成30年4 ～3月〕 A	前年度〔平成29年4 ～3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
利用料収入	1,628,960	1,611,450	17,510、101.1(%)	
指定管理料	41,809,000	41,152,000	657,000、101.6(%)	
自主事業収入	0	0	0、0(%)	
その他	530,157	238,781	291,376、222.0(%)	530,157円 (内訳 イベント収入 154,750円 積立金取崩し充当 375,407円)
合計	43,968,117	43,002,231	965,886、102.2(%)	

(2) 支出

項目	本年度〔平成30年4 ～3月〕 A	前年度〔平成29年4 ～3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
人件費	28,165,113	27,526,098	639,015、102.3(%)	
消耗品費	1,599,493	1,697,684	-98,191、94.2(%)	
光熱水費	2,070,309	1,968,363	101,946、105.2(%)	
共済費	4,070,485	3,980,887	89,598、102.3(%)	
委託料	4,821,036	4,712,129	108,907、102.3(%)	
租税公課	1,623,500	1,614,200	9,300、100.6(%)	
修繕費	399,939	343,267	56,672、116.5(%)	
その他	1,218,242	1,159,603	58,639、105.1(%)	
合計	43,968,117	43,002,231	965,886、102.2(%)	

※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔平成30年4 ～3月〕 A	前年度〔平成29年4 ～3月〕 B	対比 A-B、A/B	備考
①事業収支	0	0	0、0.0(%)	
②利用料金比率	3.7%	3.7%	0.0%、100.0(%)	
③人件費比率	64.1%	64.0%	0.1%、100.1(%)	
④外部委託費比率	11.0%	11.0%	0.0%、0.0(%)	
⑤利用者当たり 管理コスト	2,189	2,216	-27、98.8(%)	
⑥利用者当たり 自治体負担コスト	2,081	2,120	-39、98.2(%)	

①事業収支：(収入-支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていのかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、又は費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況(年度ごと下期に実施し、上期では行いません。)

項目	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	備考
①自己資本比率	99.4	99.4	99.4	99.3	99.0	
②流動比率	727.0	698.1	622.7	496.1	411.0	
③固定長期適合率	96.4	96.1	97.3	97.3	96.0	
④総資産経常利益率	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)各数値を見る限り、経営状況に問題なし。					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算する。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載する。

①自己資本比率

総資産(資産合計)に占める自己資本(純資産合計)の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金(負債合計)に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率(\%)} = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】} 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払を要する負債を「流動負債」といい、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率（\%）} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】 } 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

### ③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、又は換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率（\%）} = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】 } 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

### ④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけ経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

■貸借対照表（例）

【資産の部】		【負債の部】	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	400	買掛金	400
受取手形	500	短期借入金	300
有価証券	200	流動負債合計	700
流動資産合計	1,100	固定負債	
固定資産		社債	300
建物及び構築物	200	退職給付引当金	200
土地	500	固定負債合計	500
投資有価証券	200	負債合計	1,200
固定資産合計	900	【純資産の部】	
		資本金	600
		利益剰余金	200
		純資産合計	800
資産合計	2,000	負債純資産合計	2,000

■損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

利用者からの苦情は少なかったが、老朽化を受けて指定管理者で対策を行った。

- ①第二駐車場の木製の看板が老朽化し倒壊の危険があったので撤去するとともに、公園の敷地であるサインがなくなってしまうため簡便な看板を設置した。
- ②平成30年度は例年にも増して大変な熱波であったため、管内の室温をWBGT値で警戒したところ、厳重警戒を超え危険とされる日までであった。来館者には、エアコンの効いている部屋を案内したが、狭い部屋を多くの人数で利用していただくことになり、やや窮屈であった。
- ③ネイチャーセンターの老朽化の対応
  - ・避難路のキャットウォークについて老朽化による床板の踏み抜きがあったため、立ち入り禁止の応急処置を行った。
  - ・館内の蛍光灯の安定器に老朽化の症状がみられたため、一部機材を直結してLED電灯を利用できるよう改造した。
  - ・冬季にトイレの木製の窓から寒気が吹き込み、水道管が凍結、トイレの配管が破損することがここ数年続いた。これらに対して米子市にトイレの窓をサッシに交換していただいた。

6 利用者アンケートの結果

- いつ来園しても親切に説明していただきます。
- 冒険手帳を貰ってちょっと寄ればいいと思って来たら、とても楽しく長い時間いさせてもらいました。ありがとうございました。
- 女の子2人を連れてきました。パズル。野鳥変身・メダカとりと満喫しました。スタッフの方の距離感がちょうどよく楽しかったです。カルガモの親子が泳ぐ頃にまた来たいです。
- カルガモの親子が見れて本当に良かったです。ありがとうございました。



- 子どもとダンゴムシを取りレースに参加しました。子どもと虫や鳥にふれあえてとても良かったです。うちわも作り家で大切にに使わせていただきます。あと、スタッフの方の対応がとても良かったです。また来たいと思いました。ありがとうございました。
- 野鳥がとてもかわいかったです。
- 鳥を見ると癒されます。ありがとうございました。
- もう少しお土産の値段を安くしてほしい。イベント参加費を無料にしてほしい。
- もうちょっとイベントがあればいいと思う。
- 子どもが集中して野鳥の観察をしていたので、子どもを連れてまた来ました。鳥の可愛らしさに癒されます。
- エアコンがほしい。
- 今日はいい天気でハクチョウを見ることができ良かったです。
- いろいろな鳥がいて楽しかったです。水草を食べる時お尻しか見えないところが面白かったです。
- 米子駅からの交通手段が・・・ 直行バスがあれば最高！
- 巣箱のハウスがよかったです。
- 以前（小学生の頃）水鳥公園で鳥の羽拾い自由研究をさせていただき、それがきっかけで鳥が大好きになりました。本当にありがとうございます。また来ます。
- 初めて来ました。親切なスタッフさんのおかげで楽しかったです。
- ドングリこま回しが楽しかったです。
- カラスの展示イベントが見たいです。カラスの魅力を伝えてほしい。
- 年々展示板が新しくなり、展示物が増え楽しさが増えました。